

蒲郡市における公共交通に関するアンケート調査について (ご協力のお願い)

市民の皆様には、日ごろから市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

蒲郡市における公共交通として、鉄道、路線バス、くるりんバス（コミュニティバス）、タクシーがあります。くるりんバスは、平成27年4月から形原地区において蒲郡市内で初めての支線バスとして運行を開始し、現在は6路線を運行しています。

一方、自家用車の普及および人口減少に伴い、公共交通利用者が減少し、公共交通事業者の経営が圧迫され、事業者のみでは公共交通サービスの確保が困難となってきております。

これらの公共交通を維持するために、蒲郡市では名鉄西尾・蒲郡線へ年額約1億円、路線バスへは年額約5,800万円、くるりんバス（6路線）には年額約4,000万円を支出しています。

また、70歳以上の方がタクシーを利用する際に3割引となるチケットを配布する、高齢者タクシー運賃助成事業にかかる市の支出は年額約1,400万円で、電車、バスへの支出と合わせて、市は、年額約2億1千万円を公共交通に関する費用として負担しています。

(参考：周辺市の公共交通（バス）の実負担額)

市町村名	自治体の実負担額※1	人口※2	一人当たり事業費
蒲郡市	87,198 千円※3	77,088 人	1,131 円/人
豊橋市	117,737 千円	361,953 人	325 円/人
豊川市	151,798 千円	183,572 人	827 円/人
新城市	193,087 千円	41,115 人	4,696 円/人
田原市	321,050 千円	56,536 人	5,679 円/人

※1：愛知県都市・交通局交通対策課「愛知県内の市町村における自主運行バス等の運行状況について」（2024年5月調査）より

※2：愛知県「愛知の人口（県及び市区町村別推計人口及び要因別移動数）」（2025年3月1日現在）より

※3：名鉄西尾・蒲郡線と高齢者タクシー運賃助成事業への負担額は含まない。

今後も高齢化が進み、車で移動できない方々が増え、公共交通の必要性も高まってまいります。

蒲郡市では、蒲郡市の将来の公共交通の姿を描いた「蒲郡市地域公共交通計画（2021年6月策定・2024年3月改定）」を更新するために、交通政策に対するご意見をお伺いさせていただきたいので、アンケート調査を実施させていただきます。

趣旨を御理解いただき、調査にご協力をお願いいたします。

回答にあたってのお願い

- ・ 本調査は、蒲郡にお住まいの16歳以上の皆様から無作為に抽出した3,000人の方々に
対してお送りしております。なお、抽出データは令和7年4月1日現在のものです。
- ・ ご回答内容は、すべて統計的に処理し、プライバシーの保護はもとより、他の目的に利用
することは一切ございません。
- ・ 回答は、ご本人（あて名の方）がご記入ください。
ご本人の記入が困難な場合は、ご家族の方が聞き取ってご記入いただいても構いません。
- ・ 質問毎に、あてはまる番号に○印をつけるか、（ ）内に必要事項を直接ご記入ください。
- ・ 蒲郡市の地域公共交通の実情を整理した資料を添付しています。蒲郡市の鉄道やバスのル
ートや利用状況を紹介していますので、ご回答の参考としてください。
- ・ 記入後は、同封の返信用封筒に調査票を入れて、切手を貼らずに、**令和7年●月●日（●）
までにご投函ください。**本アンケート調査は、業務委託しているため、アンケートの返送
先は委託先である●●となっております。なお、市役所1階市民生活部交通防犯課へお
持ちいただいても結構です。
- ・ この調査のお問い合わせは、下記までお願いいたします。
蒲郡市役所 1階 市民生活部 交通防犯課
〒443-8601 蒲郡市旭町 17-1
電話：（0533）66－1156 FAX（0533）66－1194

公共交通に関するアンケート 回答用紙

問1. はじめに、あなたご自身のことについてお伺いします。(1つに○)

性別は？	1: 男性 2: 女性
年齢は？	1: 20歳未満 2: 20歳代 3: 30歳代 4: 40歳代 5: 50歳代 6: 60～64歳 7: 65～69歳 8: 70～74歳 9: 75～79歳 10: 80歳以上
お住まいは？ 町単位です。	1: 相楽町 2: 大塚町 3: 海陽町 4: 三谷町 5: 三谷北通 6: 平田町 7: 豊岡町 8: 五井町 9: 水竹町 10: 清田町 11: 坂本町 12: 神ノ郷町 13: 府相町 14: 新井形町 15: 蒲郡町 16: 堀込町 17: 新井町 18: 八百富町 19: 神明町 20: 本町 21: 上本町 22: 中央本町 23: 元町 24: 宝町 25: 御幸町 26: 宮成町 27: 緑町 28: 旭町 29: 丸山町 30: 竹島町 31: 松原町 32: 港町 33: 栄町 34: 柏原町 35: 竹谷町 36: 西迫町 37: 拾石町 38: 鹿島町 39: 浜町 40: 一色町 41: 金平町 42: 形原町 43: 形原町北浜 44: 形原町春日浦 45: 西浦町 46: その他 ()
職業は？	1: 自営業 2: 会社員 3: 公務員 4: パート・アルバイト 5: 主夫・主婦 6: 学生 7: 無職 8: その他 ()
自動車免許はお持ちですか？	1: 持っている 2: 持っていない
自家用車はお持ちですか？	1: 自由に使える車がある 2: 家族で共有している 3: 持っていない
外出(通勤・通学含む)については？	1: 外出には困難を感じない 2: 杖などを使用して外出 3: 介助を必要とする 4: 外出は困難な状況である

問2. 外出(通勤・通学含む)の頻度や目的についてお伺いします。

問2-1. あなたは、どの程度の頻度で「外出」しますか。(1つに○)

- | | | |
|-------------|------------|-------------------------|
| 1: 1週間のほぼ毎日 | 2: 平日はほぼ毎日 | 3: 週に3～4日 |
| 4: 週に1～2日 | 5: 1ヶ月に数日 | 6: 年に数日 7: その他 |

問2-2.「通勤・通学」「買い物や娯楽」「通院」の時の、それぞれの最も行く目的地について、頻度、交通手段を教えてください。
 (「通勤」には、自営・農業等を含みます)

		外出する頻度は？ (1 つに○を つけてください)		その時の蒲郡市内における 「交通手段」は？ (該当するすべての番号に○を つけてください)
「通勤・通学」 の場合 <hr/> 目的地(施設名) ○○会社、○○高校等 ()	➡	1: 1 週間のほぼ毎日 2: 平日はほぼ毎日 3: 週に3～4日 4: 週に1～2日 5: 1 ヶ月に数日 6: 年に数日 7: ほとんど行かない (下の問へ)	➡	1: 徒歩(車椅子含む) 2: 自転車 3: 自動二輪車(原付含む) 4: タクシー 5: 自家用車 6: 路線バス(名鉄バス) 7: くるりんバス(コミュニティバス) 8: 鉄道(名鉄西尾・蒲郡線) 9: 鉄道(JR) 10: その他()
「買い物や 娯楽・観光」 の場合 <hr/> 目的地(施設名) ○○スーパー、 図書館等 ()	➡	1: 1 週間のほぼ毎日 2: 平日はほぼ毎日 3: 週に3～4日 4: 週に1～2日 5: 1 ヶ月に数日 6: 年に数日 7: ほとんど行かない (下の問へ)	➡	1: 徒歩(車椅子含む) 2: 自転車 3: 自動二輪車(原付含む) 4: タクシー 5: 自家用車 6: 路線バス(名鉄バス) 7: くるりんバス(コミュニティバス) 8: 鉄道(名鉄西尾・蒲郡線) 9: 鉄道(JR) 10: その他()
「病院や 福祉施設」を 利用する場合 <hr/> 目的地(施設名) ○○病院、 老人福祉センター等 ()	➡	1: 1 週間のほぼ毎日 2: 平日はほぼ毎日 3: 週に3～4日 4: 週に1～2日 5: 1 ヶ月に数日 6: 年に数日 7: ほとんど行かない (問3へ)	➡	1: 徒歩(車椅子含む) 2: 自転車 3: 自動二輪車(原付含む) 4: タクシー 5: 自家用車 6: 路線バス(名鉄バス) 7: くるりんバス(コミュニティバス) 8: 鉄道(名鉄西尾・蒲郡線) 9: 鉄道(JR) 10: その他()

※くるりんバス(コミュニティバス)＝形原地区あじさいくるりんバス、東部地区とがみくるりんバス、西部地区みかんの丘くるりんバス、三谷地区おおしまくるりんバス、大塚地区ひめはるくるりんバス、西浦地区潮風くるりんバス

問3. 公共交通に対する評価についてお伺いします。

問3-1. 日常の公共交通での移動に不便を感じていますか？ (1つに○)

1: 感じている 2: やや感じている 3: あまり感じていない 4: 感じていない

→ 上記問3-1で、1・2を選択した、不便に感じている方にお伺いします。
不便に感じる理由は何ですか？（3つまでに○）

- 1: 自宅から駅やバス停留所までが遠い
- 2: 利用できる駅やバス停留所があっても運行本数が少ない・行き先が目的にあわない
- 3: 通常のタクシーを利用しなければならないが、料金が高い
- 4: 家族等に送迎してもらう必要があり、家族等に遠慮があるため外出そのものが困難
- 5: 介助や杖を必要とするため外出そのものが困難
- 6: 車の方が公共交通と比べて便利
- 7: その他（ ）

問3-2. 公共交通(鉄道・バス・タクシー等)が「ない」あるいは「利用しづらい」ために、外出を控えたことがありますか？ (1つに○)

1: よくある 2: たまにある 3: ない

問4. バスの利用実態とその満足度についてお伺いします。

問4-1. 市内のバスの利用状況についてお伺いします。

(1)あなたはバスをどの程度利用されますか？ (1つに○)

1: 週に3日以上 2: 週に1～2日 3: 1ヶ月に数日 4: 年に数日
5: ほとんど乗らない ・ ・ ・ ・ ・ (問5へ)

(2)利用するバスは何ですか？（あてはまるものすべてに○）

1: 路線バス（名鉄バス）
2: くるりんバス（コミュニティバス）
3: ラグーナテンボス無料シャトルバス
4: 寿楽荘ふれあい入浴送迎バス
5: ホテル・旅館送迎バス
6: その他（ ）

(3)主なバスの利用目的をお答えください。(2つまで○)

- 1: 通勤 2: 通学 3: 買い物 4: 塾・習い事 5: 趣味・娯楽
 6: 観光 7: 通院 8: 福祉施設の利用 9: その他公共施設の利用
 10: その他 ()

問4-2. 現状のバスのサービス水準(運行本数、ルート、車両等)について、満足していますか？ (1つに○)
また、その満足・不満の理由をお答えください。

- 1: 満足
 2: おおむね満足
 3: やや不満
 4: 不満
 5: バスを必要としない
 (わからない)

満足な理由は？ (3つまで○)

- 1: 目的地に直接行ける
 2: 目的地まで早く行ける
 3: 自宅から停留所までが近い
 4: 乗りたい時間に運行している
 5: 運賃が安い
 6: 座れる
 7: 時間通りに来て予定が組みやすい
 8: 利用方法が簡単
 9: バス以外に交通手段がない
 10: その他 ()

不満な理由は？ (3つまで○)

- 1: 目的地に直接行けない
 2: 目的地まで早く行けない(時間がかかる)
 3: 自宅から停留所までが遠い
 4: 乗りたい時間に運行していない
 5: 運賃が高い
 6: 座れない
 7: 時間が読めない。予定が組みにくい
 8: 利用方法を知らない・難しい
 9: バス以外の交通手段の方がよい
 10: その他 ()

問5.「名鉄西尾・蒲郡線」の利用実態とその満足度についてお伺いします。

問5-1. 名鉄西尾・蒲郡線の利用状況についてお伺いします。

(1)あなたは名鉄西尾・蒲郡線をどの程度利用されますか？ (1つに○)

- 1: 週に3日以上 2: 週に1～2日 3: 1ヶ月に数日 4: 年に数日
 5: ほとんど乗らない ・ ・ ・ ・ ・ (問5-2へ)

(問5-1で、1～4を選択した方) (あてはまるものすべてに○)

- (3)名鉄西尾・蒲郡線の主な利用目的をお答えください。(2つまで○)

- (問5-3^)

あなたが「名鉄西尾・蒲郡線を利用しない理由」をお聞かせください。

(あてはまるものすべてに○)

- 問5-3. あなたが名鉄西尾・蒲郡線を利用するためには、どのような改善を望みますか。(あてはまるものすべてに○)

- 5

問5－4. 蒲州市では、各種団体や市民の皆さんと一緒に「名鉄西尾・蒲郡線」の利用促進を図っています。こうした活動について、あなたの考えに近いものをすべて選んでください。（あてはまるものすべてに○）

- 1: 生活に必要な路線であるので、積極的に利用するなどの協力を行いたい
- 2: 路線を存続させるために、今以上に利用促進を図るべき
- 3: 廃線の危機にあることを、もっと地域で共有するようにPRするべき
- 4: 廃線になったときの影響（地価の下落など）をもっと地域住民が知るべき
- 5: 路線が廃止にならないよう税金投入の維持拡大を継続するべき
- 6: 利用が拡大しないのなら、これ以上の税金投入をやめ、代替の交通手段に切り替えるべき
- 7: その他（_____）

問5－5. 別添資料の「蒲州市内の鉄道・バスのルート」をご確認ください。

路線バスは、名鉄西尾・蒲郡線と並行してルートが設定されています。現状、名鉄にも路線バスにも税金投入を行い、維持している状況です。

名鉄と路線バスの相互に利用者が乗り換えて、お互いの利用者増加に貢献している一方で、利用者の一部が、名鉄と路線バスに分散している可能性もあります。こうした状況に対して、あなたの考えに近いものをすべて選んでください。

（あてはまるものすべてに○）

- 1: 名鉄も路線バスも民間の交通事業者がそれぞれの考えで運行している事業であるため、事業者任せにしておけばよい
- 2: 名鉄と路線バスが相互に接続することで、お互いの利用者の増加に貢献しており、現状のままでよい
- 3: 路線バスの運行内容の見直しを行い、名鉄に利用者が集中するように促すべき（路線バスへの税金投入額の削減も行う）
- 4: 名鉄と路線バス両方の運行内容を見直し、路線バスに利用者が集中するように促すべき
- 5: 税金投入額を増加して、名鉄も路線バスも現在のサービス水準を維持・向上させることで、それぞれの利用者の増加を促し、運賃収入の拡大を目指すべき
- 6: 名鉄に対する税金投入額を増加して、名鉄のサービス水準を維持・向上させることで、それぞれの利用者の増加を促すべき
- 7: 路線バスに対する税金投入額を増加して、路線バスのサービス水準を向上させることで、それぞれの利用者の増加を促すべき
- 8: どんな対応をすべきかわからない
- 9: その他（_____）

問6. くるりんバス(コミュニティバス)のあり方についてお伺いします。

問6-1. 平成27年4月の「あじさいくるりんバス(形原地区支線バス)」の運行開始を皮切りに、現在は、市内6地区でくるりんバスが運行されています。

あなたは、これら「くるりんバス(コミュニティバス)」の存在をご存知ですか？

また、実際に利用したことがありますか？ それぞれお答えください。(1つに○)

名称	(認知状況) 存在を知っていますか？	(利用実態) 乗ったことはありますか？
形原地区あじさいくるりんバス	1:知っている 2:知らない	1:ある 2:ない
東部地区とがみくるりんバス	1:知っている 2:知らない	1:ある 2:ない
西部地区みかんの丘くるりんバス	1:知っている 2:知らない	1:ある 2:ない
三谷地区おおしまくるりんバス	1:知っている 2:知らない	1:ある 2:ない
大塚地区ひめはるくるりんバス	1:知っている 2:知らない	1:ある 2:ない
西浦地区潮風くるりんバス	1:知っている 2:知らない	1:ある 2:ない
塩津地区しおつくるりんバス	1:知っている 2:知らない	(10月運行開始予定)

問6-2. 蒲郡市地域公共交通計画では、公共交通の将来像として「地域で創り、守り、育てあげる持続性の高い公共交通体系を構築する」とされております。

くるりんバス(コミュニティバス)は、路線バスが走っていない交通空白地や交通不便地域において、地区の要望と協力により事業化してきました。現在は、形原・東部・西部・三谷・大塚・西浦地区の6カ所で運行し、現在塩津地区にて新たな運行に向けた協議が行われています。

あなたは、「くるりんバス(コミュニティバス)の事業化」について、どのように思いますか。あなたの考えに近いものをすべて選んでください。

(あてはまるものすべてに○)

- 1: 塩津地区で導入ができれば、市内全域をおおむねカバーした形になるため、これ以上の事業化を進める必要はない。
- 2: 地区からの要望と協力があれば、新たにくるりんバス(コミュニティバス)の運行はかまわない。
- 3: 運行する地区を制限するために、利用者数や収支状況等から利用実態を分析し、基準を満たすものだけ維持すべき(一定の基準を満たさないものは、廃止すべき)。
- 4: 塩津地区の導入で、市内全域をおおむねカバーした形になるため、今後は、乗り継ぎの利便性を高めるよう、くるりんバス(コミュニティバス)全体のネットワークを見直すべき。
- 5: 各くるりんバスのルート・停留所を部分的に変更し、乗り継ぎをしやすくするべき。
- 6: くるりんバスの運行日を週4日から5日に増やすべき。
- 7: 運転手の人数やバスの台数を増やし、朝夕時間帯の延長や運行本数を増やすべき。
- 8: くるりんバスだけでなく、路線バスを含めた「1日乗車券」の導入を行うべき。
- 9: その他()

問7. 蒲郡市の将来的な公共交通のあり方についてお伺いします。

蒲郡市では、鉄道、路線バス、くるりんバス等の公共交通が確保されていますが、これらの路線の維持のために一部経費を負担（税金投入）しています。

令和6年度は、名鉄西尾・蒲郡線に約1億円、名鉄バスに約5,800万円、くるりんバス（全6路線）に約4,000万円、高齢者タクシー運賃助成事業に約1,400万円、合計約2億1千万円の税金投入を行いました。

市の経費負担の規模は大きく、今後公共交通の必要性が高まっていく一方で、このまま現状の負担を継続してよいか、将来に向けて見直すべきか検討が必要です。

問7-1. 税金投入して維持している蒲郡市内の公共交通は、どのような「目的」のために、優先して維持すべきだと思いますか？

「優先される目的」を3つまで選んでください。（3つまで○）

- 1: 「通勤」できるようにするため
- 2: 中学生・高校生・大学生が「通学」できるようにするため
- 3: 「買い物」ができるようにするため
- 4: 「病院に通院」できるようにするため
- 5: 蒲郡駅など主要な「駅」を利用できるようにするため
- 6: 市役所などの「公共施設」を利用できるようにするため
- 7: 「その他の施設」の利用ができるようにするため
- ・・・どのような施設ですか？（ ）
- 8: 高齢者や身体障害者などの移動が困難な方の生活の足を確保するため
- 9: 市外からの観光客が「観光」「周遊」をできるようにするため
- 10: 民間の事業については、運行目的は、民間の交通事業者にかかせればよい
- 11: わからない
- 12: その他（ ）

問7-2. 蒲郡市内の「路線バス」は、運賃収入だけでは維持できないため、税金を投入して運行しています。「路線バス」は、走行している路線により、利用者数や運賃収入などに違いがあるため、路線ごとに税金の投入額が異なっています。このことについて、あなたの考えに近いものをすべて選んでください。（あてはまるものすべてに○）

- 1: 収支率の悪い（税金投入額の高い）路線は、運行本数を減らしてコストを下げたり運賃を高くして、収支状況の改善を行うべき
- 2: 収支率の悪い（税金投入額の高い）路線は、予約制にして利用者がいない時は走らないようにするなど、コストを削減できる別の方法に変えるべき
- 3: 収支率の悪い（税金投入額の高い）路線は、周辺住民や周辺企業からの寄付などによる支援を仰ぐことで、収支の改善を図るべき
- 4: 一定の税金投入額を超えてしまう路線は、廃止すべき
- 5: 現在の路線は、駅や市民病院を中心に蒲郡市全体のネットワークを考えて民間の交通事業者が構築したものであり、路線毎に評価などはせず、現状のまま維持すべき
- 6: 税金投入額を増やし、路線バスの運行本数の増加や割引チケットの導入など、サービス水準を向上して利用者を増やすことで、収支の改善を図るべき
- 7: その他（ ）

問7-3. 改めて、財政投入に対するあなたの意見をお伺いします。

鉄道・路線バス・支線バス等を維持するために年間約2億1千万円の税金を投入しています。この投入額を、どう思いますか？（1つに○）

- 1: 多すぎる 2: やや多い 3: 妥当 4: やや少ない 5: 少なすぎる

問7-4. 蒲郡市内の鉄道やバスの路線維持のため、今後の税金投入とこれら公共交通サービスの水準（運行方法、運賃設定や運行本数等）のあり方について、どのように考えるべきですか？（1つに○）

- 1: 現状は妥当な税金投入額・運行方法・運賃・サービス水準である
2: 今以上の税金投入を行い、サービス水準を向上させてほしい
3: 税金投入額は現状のまま、利用者の運賃を値上げして、サービス水準を向上させてほしい
4: 利用者の運賃を値上げして、税金投入を抑制してほしい（サービス水準は現状維持）
5: 現在行われているサービス水準を下げて、税金投入を抑制してほしい（使い勝手が悪くなり利用者が減ることで、民間の路線は維持できなくなる可能性がある）
6: 現在行われているサービス内容を絞り込み、代わりに住民がボランティアで運転手になり困っている人を送迎するなど、別の方法で対応することで、税金投入を抑制してほしい
7: わからない。
8: その他（_____）

問7-5. 蒲郡市では、「高齢者タクシー運賃助成事業」として、70歳以上の高齢者に対して、年間100枚まで、タクシー料金が3割引（タクシー会社が1割、市が2割負担）になるチケットを配布する事業を行っており、現在、年間1,400万円程度の税金を投入しています。当該事業に対するあなたのご意見に近いものを選んでください。

（あてはまるものすべてに○）

- 1: 高齢者向けの移動サービスとして、現在の事業をそのまま継続すべき
2: 市の負担を2割から1割にして、税金投入額を削減すべき
3: 現在配布している枚数（100枚）を、年間50枚に削減し、税金投入額を削減すべき
4: 配布対象年齢を70歳から、75歳に引き上げることで、税金投入額を削減すべき
5: 通常運賃でタクシーを利用すればよく、制度そのものを無くすべき
6: その他（_____）

問7-6. 公共交通の維持のためには、たくさんの方が利用する必要があります。

あなた自身は、自家用車中心の生活から、公共交通中心の生活に転換できると思いますか？ 現在の公共交通を前提としてお答えください。（1つに○）

- 1: 既に公共交通が中心
2: たまにならできると思う
3: 将来、年をとったらできると思う
※何歳になったら公共交通に転換しようと思いますか？
 ア) 60～64歳 イ) 65～69歳 ウ) 70～74歳 エ) 75～79歳
 オ) 80～84歳 カ) 85～89歳 キ) その他（_____歳）
4: 現状の公共交通の状況ではできない・変わらないと思う

問7ー7. 人口減少や運行経費の増大により、現在の公共交通の維持が難しくなっています。将来にわたり市民の移動手段を確保していくため、市の負担が増大しても、市の責任において公共交通を維持していくことが望ましいと思いますか。(1つに○)

1: とてもそう思う 2: ややそう思う 3: あまり思わない 4: 全く思わない

問7ー8. これまでの市の公共交通は、交通空白地を解消するために、需要が少ないところであってもできる限り移動手段を確保できるように取り組んできました。あなたは、需要の多いところを中心にサービスを向上するべきだと思いますか。(1つに○)

1: とてもそう思う 2: ややそう思う 3: あまり思わない 4: 全く思わない

問7ー9. これまで交通空白地の解消の取組みについては、主に高齢者の移動支援を中心に展開されてきました。あなたは、子どもたちが日常的に通学などに利用できるような公共交通を構築するべきだと思いますか。(1つに○)

1: とてもそう思う 2: ややそう思う 3: あまり思わない 4: 全く思わない

問7ー10. 市内の観光施設や旅館・ホテル等では、駅・施設間の送迎バスを独自に運行しています。あなたは、旅館・ホテル等が行う「施設送迎」だけでなく、観光のまち蒲郡として、観光客や住民が利用できる観光・周遊を目的としたバス等の公共交通があるとよいと思いますか。(1つに○)

1: とてもそう思う 2: ややそう思う 3: あまり思わない 4: 全く思わない

(次へお進みください)

問 8. 蒲郡市内でのタクシー利用についてお伺いします。

問8-1. 蒲郡市内において、タクシーをどの程度利用しますか？（1つに○）

- | | |
|-------------|------------|
| 1: 1週間のほぼ毎日 | 2: 平日はほぼ毎日 |
| 3: 週に3～4日 | 4: 週に1～2日 |
| 5: 1ヶ月に数日 | 6: 年に数日 |
| 7: ほとんどない | |

問8-2. 蒲郡市内において、直近1年以内に、タクシーの予約や配車がうまくいかず、利用を断念したことはありますか？（1つに○）

- | | |
|-------|--------------------|
| 1: ある | 2: ない（→問9にお進みください） |
|-------|--------------------|

問8-3. 蒲郡市内において、直近1年以内に、何回くらい、タクシーの利用を断念しましたか？（数字を記入）

この1年で、おおよそ（ ）回、タクシーの利用を断念した

問8-4. タクシーの利用を断念したのはいつ頃ですか？
（複数ある場合には最も利用しなかったときについてお答えください）（1つに○）

- | | |
|--------------|----------------------|
| 1: 平日（月～木曜日） | （ <u> </u> ）時ごろ |
| 2: 平日（金曜日） | （ <u> </u> ）時ごろ |
| 3: 土休日 | （ <u> </u> ）時ごろ |

問9. バスやタクシーの運転手になる意向についてお伺いします。

問9-1. バスやタクシーの運転手がさらに不足することが予想されています。将来、あなたは自分自身が運転手として働いてもよいと考えますか？

（1）バスの運転手として働いてもよいと考えますか？（1つに○）

- | | | |
|-----------------------------------|-----------|--|
| 1: バスの運転手として働きたい | | |
| 2: 免許取得費用を出してもらえらるならバスの運転手として働きたい | 3: 働きたくない | |

（2）タクシーの運転手として働いてもよいと考えますか？（1つに○）

- | | | |
|-------------------------------------|-----------|--|
| 1: タクシーの運転手として働きたい | | |
| 2: 免許取得費用を出してもらえらるならタクシーの運転手として働きたい | 3: 働きたくない | |

問9-2. 上記で、バスかタクシーのいずれかに1・2とお答えした方にお伺いします。働くときのご希望の条件を教えてください。

勤務時間数： 1週あたり（ ）日勤務 × 1日あたり（ ）時間程度勤務
時間帯：（ ）（例: 16時～21時 など）

問 10. バスを「まったく利用しない方」だけにお伺いします。

※バスを利用する方（当てはまらない方）は、最終 15 ページの自由意見にお進みください。

問 10-1. あなたのお住まいの近くにバス停留所がありますか。（1つに○）

- 1: ある
- 2: ない
- 3: 知らない・わからない

問 10-2. あなたが「バスを利用しない理由」をお聞かせください。

（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1: 自分で車を運転できる | 2: 家族の人が車で送迎してくれる |
| 3: バスの乗り降りや外出するのが負担 | 4: 行きたい場所にバスが通っていない |
| 5: 利用したい時間にバスが走っていない | 6: 運行本数が少ない |
| 7: 運賃が高い | 8: 目的地まで時間がかかる |
| 9: 目的地まで遠回りする | 10: 時刻表通りに来ない |
| 11: 目的地への到着が遅れる | 12: 始発バスの時間が遅い |
| 13: 最終バスの時間が早い | 14: 帰りに利用できるバスがない |
| 15: 乗り継ぎが不便 | 16: 時刻表やルートがよくわからない |
| 17: バスの乗り心地が良くない | 18: 待合環境が良くない |
| 19: バスの乗車方法がわからない | 20: 自宅の近くにバス停留所がない |
| 21: その他（_____） | |

問 10-3. 自宅近くに、条件に合ったバスが運行されれば、あなたは利用しますか？

（1つに○）

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| 1: 条件が合えば、必ず利用する | } ・ ・ 問 10-4 を回答ください |
| 2: 条件が合えば、たぶん利用する | |
| 3: 利用しない | ・ ・ 最終 15 ページへお進みください |

※利用しない理由は？

- | | |
|------------------|-------------------|
| ア) 自家用車での移動を優先する | イ) 家族の人が車で送迎してくれる |
| ウ) 徒歩や自転車がある | ロ) その他（_____） |

問 10－4. 条件が合えば利用すると回答された方にお伺いします。

(1)「運行本数」に関する条件はありますか？（1つに○）

- ア) 1 時間毎に 1 本程度運行するなら利用する
- イ) 30 分毎に 1 本程度運行するなら利用する
- ウ) 15 分毎に 1 本程度運行するなら利用する
- エ) 運行本数は関係ない（判断条件にはならない）
- オ) その他（ ）

(2)「運賃」に関する条件はありますか？（1つに○）

（参考）現在の運賃：くるりんバス（コミュニティバス）1 乗車：100 円、
名鉄バス「蒲郡駅前」～「蒲郡市民病院前」：220 円

- ア) 現在のバスの運賃よりも少し高くても利用する
- イ) 現在のバスの運賃と同じ程度であれば利用する
- ウ) 現在のバスよりも安い運賃であれば利用する
- エ) 距離で変動しない「定額運賃」であれば利用する
- オ) 運賃は関係ない（判断条件にはならない）
- カ) その他（ ）

(3)「目的地までの所要時間」に関する条件はありますか？（1つに○）

- ア) 乗用車と比べて少し遅れる程度の時間で目的地に着けるなら利用する
- イ) ルートによっては遠回りになるのは仕方がないので、迂回する分の所要時間の増加なら利用する
- ウ) 所要時間は関係ない（判断条件にはならない）
- エ) その他（ ）

(4)「車両の形状」に関する条件はありますか？（1つに○）

- ア) 一般的な「バス」車両であれば利用する（車いすやバリアフリーは対応）
- イ) ジャンボタクシーサイズ以上の車両であれば利用する（5～9 人乗り程度）
- ウ) 一般的な「タクシー」車両を活用したセダンタイプの後部座席でも利用する
- エ) 車両の形状は関係ない（判断条件にはならない）
- オ) その他（ ）

(5)ダイヤ(時刻表)に設定された時間に必ず運行する方法を「定時運行方式」と呼びます。「運行方式」に関して条件はありますか？（1つに○）

- ア) 自分が利用したい時間帯に運行している定時運行方式なら利用する
- イ) あらかじめ「予約」する方法でも利用する（不定期運行方式）
（利用者がいなければ、運行しないで済むためコスト削減が可能な方式）
- ウ) 運行方式は関係ない（判断条件にはならない）
- エ) その他（ ）

(6)バスを利用して行けるとよいと思う目的地はどこですか？

①通勤・通学、②買い物・娯楽・観光、③病院(通院)それぞれの目的について、
主な目的地(場所・名称)、利用頻度について回答ください。

＜参考＞各地区（中学校区）の地図（地理院地図をもとに作成）



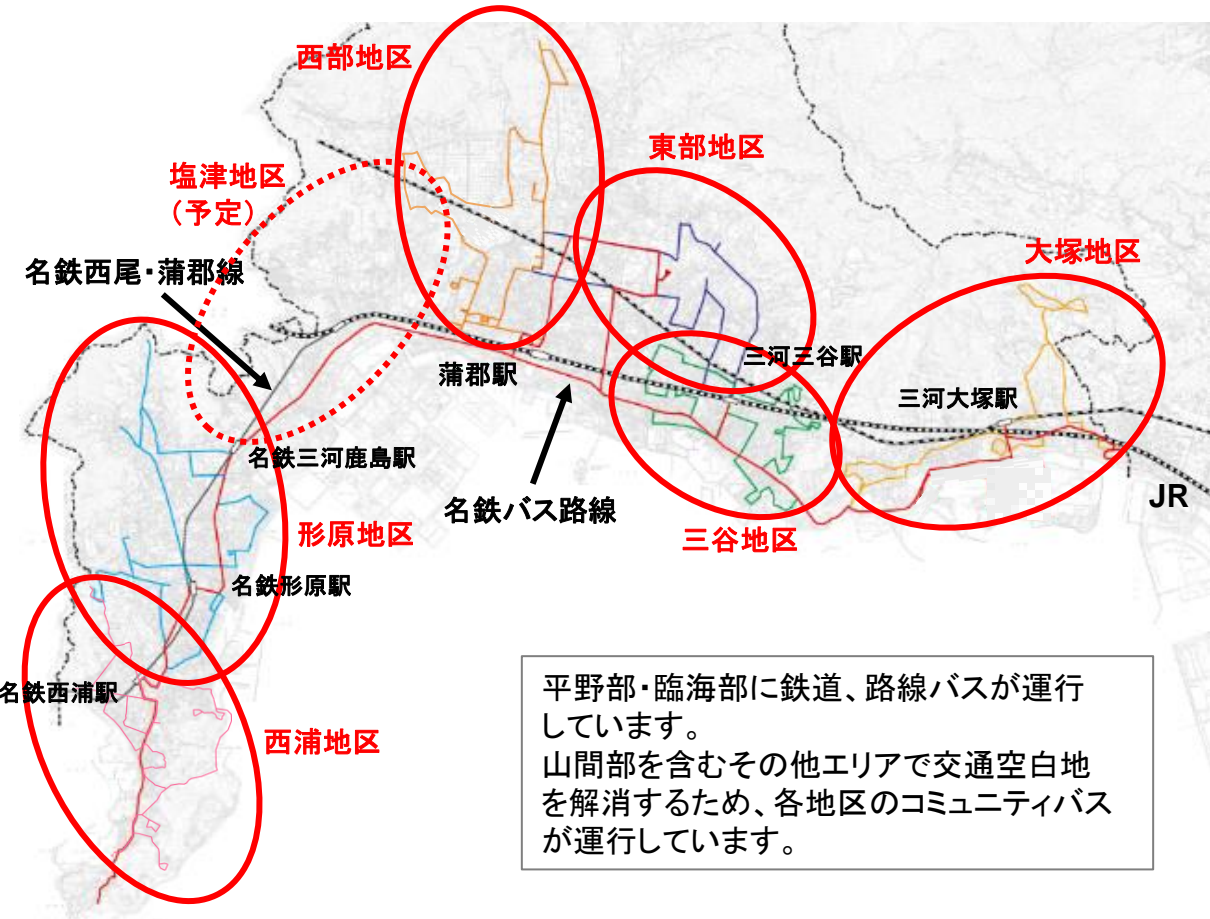
	目的地の場所は？ (1つに○)	目的地の名称は？ (名称を記入)	外出する頻度は？ (1つに○)
① 通勤・通学	1: 大塚地区 2: 三谷地区 3: 蒲郡地区 4: 中部地区 5: 塩津地区 6: 形原地区 7: 西浦地区 8: 市外	()	1: 1週間のほぼ毎日 2: 平日はほぼ毎日 3: 週に3～4日 4: 週に1～2日 5: 1ヶ月に数日 6: 年に数日 7: ほとんど行かない
② 買い物・娯楽 ・観光	1: 大塚地区 2: 三谷地区 3: 蒲郡地区 4: 中部地区 5: 塩津地区 6: 形原地区 7: 西浦地区 8: 市外	()	1: 1週間のほぼ毎日 2: 平日はほぼ毎日 3: 週に3～4日 4: 週に1～2日 5: 1ヶ月に数日 6: 年に数日 7: ほとんど行かない
③ 病院(通院)	1: 大塚地区 2: 三谷地区 3: 蒲郡地区 4: 中部地区 5: 塩津地区 6: 形原地区 7: 西浦地区 8: 市外	()	1: 1週間のほぼ毎日 2: 平日はほぼ毎日 3: 週に3～4日 4: 週に1～2日 5: 1ヶ月に数日 6: 年に数日 7: ほとんど行かない

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。
公共交通(バス等)への、ご意見などがありましたらお書きください。

同封の返信用封筒に調査票を入れて、切手を貼らずに、
令和7年●月●日(●)までに投函してください。

鉄道とバスのネットワークの現況

蒲郡市内の鉄道・バスのネットワーク



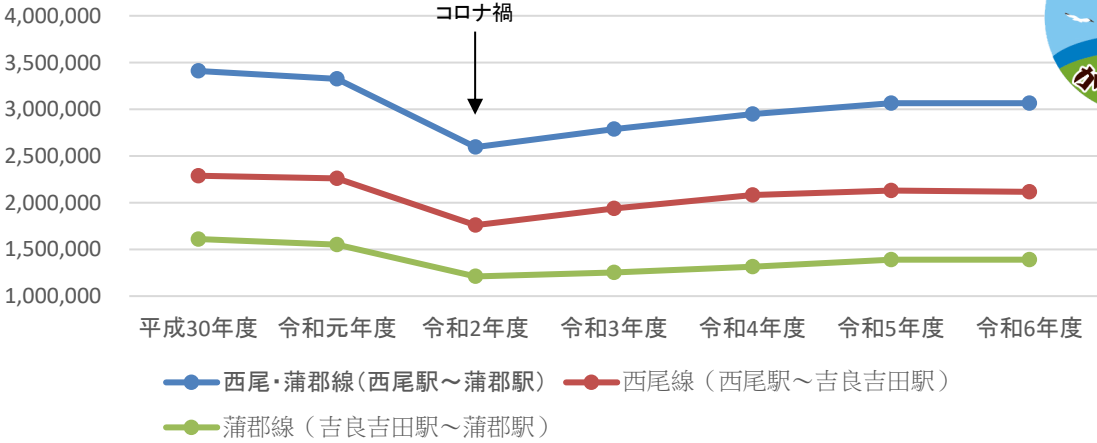
鉄道と路線バスの利用状況について

名鉄西尾・蒲郡線の利用状況

蒲郡市内には、JR東海道本線、名鉄西尾・蒲郡線の鉄道が運行されています。そのうち、名鉄西尾・蒲郡線は蒲郡市と西尾市による財政支援により維持している状況です。利用状況としましては、コロナ禍で大幅に減少しましたが、その後は毎年少しずつ増加をしています。今後も安定的に存続させるためには、「乗って残そう！」の気持ちで、より多くの方々に利用していただく必要があります。



名鉄西尾・蒲郡線利用状況



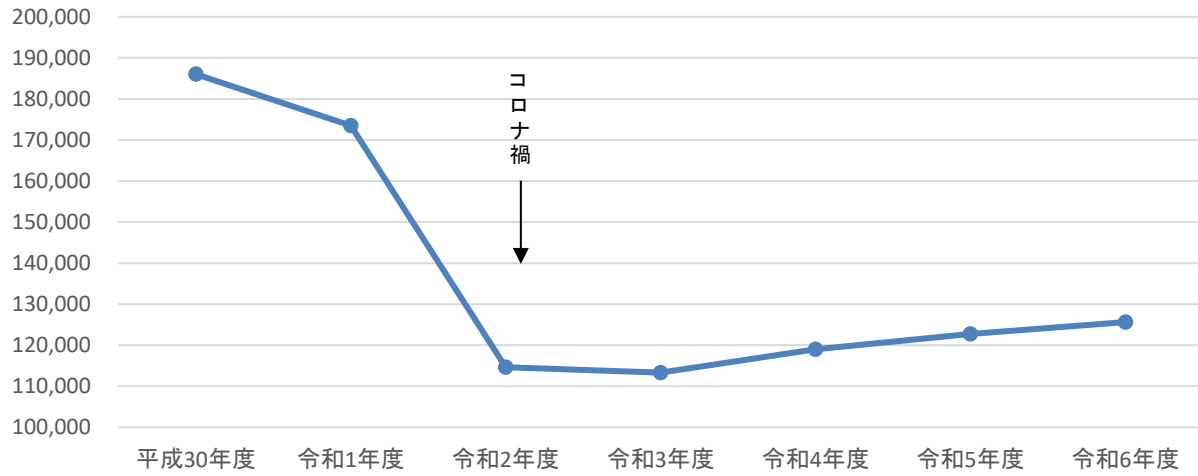
路線バス(名鉄バス)の利用状況

蒲郡市内のバス路線は、西浦方面から蒲郡駅・市民病院を結ぶ路線と、大塚方面から蒲郡駅・市民病院を結ぶ路線から形成されています。

全路線赤字で、財政支援により維持している状況です。
今後も路線を維持していくためには、鉄道と同様に、皆さまにもっと利用していただき、運賃収入の増加に繋げていく必要があります。



路線バスの利用者数



鉄道と路線バスをカバーする地域交通について

コミュニティバス(くるりんバス)の利用状況

鉄道と路線バスが運行していないエリアをカバーする交通手段として、コミュニティバスがあります。

現在は、平成27年に運行を開始した形原地区をはじめ、東部・西部・三谷・大塚・西浦地区の市内6地区で運行しています。令和7年10月には、塩津地区でも運行開始を予定しています。

日常の買い物、通院に欠かせない足として、徐々に利用者数を増やしています。

